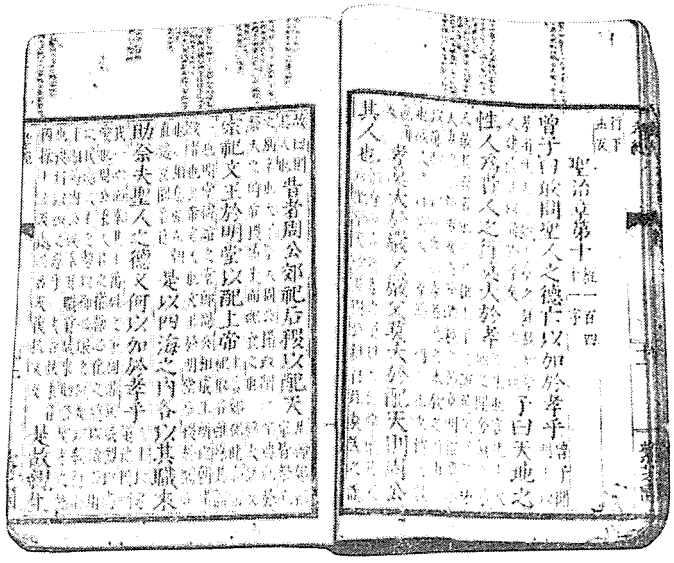
THE KANSAI UNIVERSITY BULLETIN

Osaka, Sept. 30th, 1960, No. 343.

關西大學學報

昭和35年9月　第343号

昭和二十六年十月十五日第三種郵便物認可
昭和三十五年九月三十日発行（毎月一回三十日発行）
通巻三四三号



藤沢章次郎（黄坡先生）手沢書入「孝経」
「泊園文庫蔵書目」より

關西大學出版部

関西大学雪窓文庫所蔵

五弓雪窓撰述稿本目

壺井義正
文学部教授

広島県府中市五弓武男氏の手許に伝えられていた五弓雪窓（名久文、字士憲、明治十九年歿六四才）の遺著稿本類が後裔武男氏の厚意と大橋香陵女史の尽力によつて尽く本学へ寄贈せられた。

雪窓は史誌の編纂に通じ、維新後は太政官修史局出仕として「事実文編」の著を以て有名である。今回寄贈せられた文庫は事実文編の稿本は勿論のこと自己の撰述にかかるもの約百二十一種、他の撰述約三五種に及び尽く抄本原稿の類である。過般一応の整理を終つたので、参考の為に雪窓自撰のものの書目を記して見ることにする。

恐らくは雪窓の全著述目録と云い得るであろう。

一、撰　史

神史一七巻附史一巻凡一八巻。続神史五巻附五弓久文伝一巻
昭和八年曾根研二校刊　活版　一冊　附ハ五弓安二郎撰

神史一八巻　抄本　現一〇冊
巻七・八・九・一〇・一一・一二・一三・一四欠、成稿清抄本デ、曾根氏校刊ニ当ツテ利用セラレタルモノ。

神史自序・凡例並採用書目一巻　抄本一冊
神史序及採用書目一巻　抄本一冊
共ニ神史首ノ稿本デアツテ前者ガ初稿本、後者ガ再稿本デアル

神史採用書目（校正神史引書目次）一巻　抄本　一冊
神史採用書目一巻　抄本　一冊　未定稿
神史稿（神史史料）一巻　抄本
神史追補藍本二巻附一巻　抄本　二冊
続神史一巻　自筆抄本一冊　初稿本
続神史三巻　抄本三冊　再稿本自筆加削
続神史四巻　抄本三冊　三稿本自筆加削
三稿本ハ成稿ニ近イ

事実文編不分巻　抄本八〇冊
事実文編次篇不分巻　抄本二二冊
事実文編後篇不分巻　抄本三冊
事実文編雑篇不分巻　抄本一二冊
共ニ成稿清抄本デアル

事実文編目次不分巻　抄本三冊
事実文編目次二巻　抄本二冊
共ニ稿本

事実文編目次三巻　事実文編次篇目次一巻　事実文編雑篇目次一巻　抄本五冊

成稿本
事実文編載著標目一巻　抄本一冊
事実歌編巻一、一巻　抄本一冊
事実文編ニ対シテ編輯ヲ意図シタガ、編ヲナサナイママニ止メタモノデアルラシイ。

蜻洲詩史一一巻　僧照海手抄本　一〇冊
成稿清抄本

歴代一覧一巻　抄本一冊
加朱初稿本

歴代一覧一巻　抄本一冊
加朱再稿本、伝記ニヨレバ歴代一覧ハ福山藩内ニノミ公刊シタ由

三備史略一〇巻
五弓久紀校、明治二七年刊香文舎蔵版　活版　三冊

続南木誌不分巻　抄本二冊
中山利質ノ楠木誌ニ続クモノノ意図ナラン

松平定信行実一巻
木原元礼（老谷）荻原裕（西疇）石津発（灌園）島田重礼（篁村）自筆批
抄本一冊

松平定信行実一巻
石津発　菊池純（三渓）阪谷素（朗廬）川田剛（甕江）自筆批　抄本一冊
稿成ツテ後諸家ニ回覧シテ批ヲ求メタモノ

松平定信行実一巻　自筆抄本一冊
前二者ヲ稿本トシ諸批者ノ意見ヲ参酌シテ改稿シタモノ　成稿本

文恭公実録五巻首末各一巻　抄本四冊
巻数ニツイテハ、四巻或ハ五巻ト再考三考シタ跡ガアル。自撰ノ著述目録ニハ四巻トアルガ、当本ニツイテハ五巻トナツテヰル。末巻ハ恭公実録序（阪谷

素撰）以外ハ本書ト無関係ノ文デアル。
伝記ニヨレバ家刻公刊
文恭公実録志料一巻附一巻　抄本一冊
近時義烈伝一巻　抄本
末ニ本教館学規一巻　附学論（天野華（君実）撰）ヲ附録　一冊
福山管内地理略一巻　抄本一冊
伝記ニヨレバ福山藩内ニ公刊
近世名人生歿年表一巻　抄本一冊
吉田家譜一巻　吉田家譜一巻　抄本一冊
上記本ハ第一稿　下記本ハ再稿本、末ニ擬大将軍上洛記（布衣某撰）一篇ヲ附記
星巌梁川先生年譜一巻　抄本
客窓訳史ト共ニ一冊

二、史料、史評、史論、附論説

晩香館史稿（史補）不分巻　抄本四冊
永禄二年―宝暦三年、編年史的史料録
晩香館史稿一巻　抄本一冊
史料録、前者トハ別
史屑四巻附一巻　抄本六冊
史論史実ノ摘録、更ニ継続スル意図ノモノデ勿論完本デハナイ。附一巻ハ第五巻ニ当ルベキモノ
史痕二巻附一巻　増田貢批　抄本二冊
附一巻ハ通鑑室記一篇・温史摘評自序一篇デアツテ本書トハ無関係、恐ラクハ温史摘評ヲ作ルベクシテ後改意シテ巻頭ヨリ別本ヲ記シタモノ、史痕四巻（近世漢学者著述目録大成）トアルモ本書ハ清抄デ巻一巻二ニ止ツテキル、完本カ或ハ未完本カ判然トセヌ。
温史摘評五巻　増田貢自筆批　自筆抄本二冊
宋元通鑑摘評一巻　増田貢自筆批　自筆抄本一冊
政記存疑一巻　阪谷素　片山達自筆批　抄本
拠史徴経ト合シテ一冊
政記存疑一巻　阪谷素　頼復自筆識語　抄本一冊
山陽ノ政記ニ対スル論難、後裔頼復氏亦之ヲ認メテ識語ヲ付ス
史語撫要（六国史撫要）五巻　赤松則美　中山信温校録　抄本五冊
備中国名勝考辨疑一篇　阪谷素批　抄本
交友人名簿　往阪記ト合シテ一冊
柳沢吉保伝弁誣一巻　抄本
阿部公説論書、消暑一適ト合シテ一冊
続日本紀編輯体例下問ニ付略答一篇　纂史目的詹言一篇　後小松天皇以後編年史料纂修方法改革ノ儀ニ付伺一篇　抄本一冊
編輯着手ノ方法　修史目的各一篇
抄本一冊
纂史意見三篇　抄本
前々記ノ一本ト同ジ内容、邇俗雅言ト合シテ一冊
晩香館史論一巻　阪谷素　片山達　藤沢甫自筆批
抄本一冊
神主考一巻　自筆抄本一冊
建白諸件一巻　抄本
通俗雅言　聳聞片玉　神史稿ト合シテ一冊

三、書　目

当読書目不分巻　抄本二冊
諸家蔵書目次一巻附一巻　自筆抄本一冊
修史採用書目二巻　要借書目一巻　編修備用書目一巻
附諸書目五種　抄本一冊
内編修備用書目ハ青渓時敏撰
修史参攷書目一巻　抄本一冊
晩香館著述目録一巻末一巻　自筆抄本一冊

四、文　稿

晩香館文稿不分巻　石津発　木原元札　菊池純　松田坤　片山達（沖堂）中村彝（確堂）阪谷素　斉藤正謙（拙堂）藤沢恒（南岳）自筆批　抄本四冊
晩香館旧稿不分巻　中村正直（敬宇）片山達　川田剛　中村彝　石津発　菊池純　中村桑（三樵）　自筆批
抄本二冊
文草原稿不分巻　菊池純　三島毅（中州）松田坤　片山達　自筆批　抄本一冊
晩香館雑稿不分巻　中村正直　木原元札　藤沢恒　片山達　松田坤　中村彝　菊池純　石津発　自筆批
抄本三冊
晩香館文集原稿不分巻　抄本　二冊
雪窓先生文集一巻　片山達　菊池純　石津発　中村彝　川田剛　中村正直等批　抄本一冊
晩香館庚辰文稿（晩香館文叢原稿）不分巻
木原元礼　中村彝　菊池純　片山達　自筆批　抄本二冊
晩香館辛巳文稿（松田謙斎批評文稿）一巻
松田坤　自筆批　抄本一冊
辛巳文稿不分巻　中村彝　木原元礼　菊池純　松田坤　片山達　自筆批　抄本二冊
壬午晩香館文稿四巻　片山達　木原元礼批　抄本二冊
壬午晩香館文稿不分巻
前者ガ第一稿　後者ガ第二稿成稿本
壬午文稿不分巻　抄本二本
前二者トハ別
癸未晩香館文稿　斉藤世謙　塩谷世弘（宕陰）片山達　菅野潔（白華）自筆批　抄本一冊　欠本ラシイ
癸未晩香館文抄不分巻

中村桑（三樵）自筆批　抄本二冊
晩香館甲申文稿不分巻
中村彝　片山達　自筆批　抄本二冊
晩香館甲申文稿不分巻
中村彝　中村桑　片山達　自筆批　抄本二冊
晩香館乙酉文稿一巻　抄本一冊
晩香館詠草不分巻　自筆抄本二冊
晩香館詠草一巻　抄本
拙堂伝　焉馬叢録ト合シテ一冊
蒹玉相倚三巻　抄本三冊
五弓久文ト片山達トノ往復文書ノ収録、明治一〇年
―一五年ニ至ル五年間
迂黙筆語一巻附一巻　片山達自筆批　抄本
僧黙霖トノ筆談録　政記存疑　拠史徴経ト合シテ一
冊
漉水余語（与江湖山人書）一巻附録一巻　抄本一冊
観劇ニ関スル戯文

五、編輯総集

詠神楽歌集一巻　抄本一冊
求友編三巻　抄本四冊
文人詩人ノ朋友間ニ於ケル序贈言ノ収録
冨美濃多根二巻　抄本二冊
古今ノ和歌詩文ノ随録　自撰ノ歌モ輯録
景賢録不分巻　抄本三冊
仰祭余録一巻　附仰祭余録附志一巻　抄本一冊
明治五年八月十三日自ラ水戸烈公ヲ祭リ諸友ニ詩文
ヲ求メテ一巻ヲナシタモノ。烈公祭祀ハ欽慕ノ余ニ
出タモノデ、前書ト共ニ久文ノ崇敬スル人物ガ窺ハ
レ、水戸学関係ノ人物ヲ仰慕シタ模様デアル、修史
ニ志ス者トシテ当然ノ崇敬デアラウカ。
東魂一巻附一巻　抄本二冊
大和魂二巻附倭魂一巻　抄本三冊
大和魂皇国意識ニ関スル詩文ノ輯録、前者ハ徳川幕
府ニ関スル詩文集
名家詩文抄不分巻　抄本二冊
名家文余一巻　抄本一冊

六、随筆、随録、叢纂

蕉陰茗話六巻　蕉陰茗話続編二巻
抄本二冊
続蕉陰茗話三巻　抄本二冊
蕉陰茗話剰篇三巻　蕉陰茗話残篇二巻　抄本三冊
雪窓清話ノ稿本、後雪窓清話ト改ム。残篇ノ二巻ハ
後記ノ雪窓清話巻五巻六トナル
雪窓清話巻五巻六　二巻　抄本一冊
蕉陰茗話剰篇一巻　抄本一冊
前記剰篇トハ別
津逮餘筆（旧題羽樵健忘録）稿本不分巻　抄本三四冊
巻数ハ別ケテキルガ前後不統一
晩香館漫録不分巻　抄本一冊
晩香館筆叢不分巻附録一巻　抄本一七冊
晩香館叢書二巻　抄本二冊
凝麗成嶽一巻　抄本一冊
負暄閑談巻一　一巻　抄本一冊
迂樵迂言三巻　抄本二冊
痿叟迂語一巻　抄本一冊
病榻暇筆二巻　抄本一冊
病榻暇筆二巻　抄本一冊
二者共ニ稿本未定稿、内容相互ニ於テ出入アリ
坐待旦録三巻　抄本三冊
牛溲馬勃不分巻　抄本二冊
焉馬叢録一巻　抄本
類字異字ノ収録、拙堂小伝　晩香館詠草ト合シテ一冊
消暑一適一巻　阪谷素自筆批　抄本
柳沢吉保伝弁誣、阿部侯説諭書ト合シテ一冊
客窓訳史一巻
斉藤正謙　菅野潔等自筆批　抄本一冊
星巌年譜ト合シテ一冊
邇俗雅言一巻瞥聞片玉　一巻　抄本
建白諸件　神史稿ト合シテ一冊
邇俗雅言巻二　抄本一冊
邇俗雅言一巻　抄本
纂史意見ト合シテ一冊
地名今昔異称一巻　抄本一冊
必読書題言彙纂一一巻　抄本一二冊
楽信寮課題言彙纂（未古府郷黌課題）不分巻　抄本
俚諺叢録　焉馬叢録ト合シテ一冊
楽信寮詩文課題彙纂不分巻　抄本一冊
楽信寮詩文課題彙纂不分巻　抄本一冊
スベテ同内容、楽信寮ハ久文ノ学塾　後古府ノ郷黌
トナル
晩香館温史記録四篇　抄本一冊
晩香館門人名薄一巻　自筆抄本一冊
国朝先哲詩文題例一巻　抄本一冊
交友人名簿一巻　自筆抄本一冊
備中名勝考弁証　往坂記ト合シテ一冊
本教館学規一巻附学論　抄本一冊
近時義烈伝ト合シテ一冊
論孟記事一巻
抄本一冊
勉強録一巻　抄本一冊
読外筆綴三巻

（5頁4段目に続く）

学内報

学校法人関西大学 評議員改選

去る昭和三十一年九月選出された学校法人関西大学評議員は、本九月をもつて四年の任期を満了するので、その改選が行われることになつた。

改選される評議員は寄附行為第十三条に基き、教職員より十五名、校友より五十名、理事会の推薦する学識経験者十五名であるが、その中学識経験者は六月二十八日の理事会で推薦、七月五日の評議会で承認されて既に決定をみたが、教職員及び校友より選出される評議員は、寄附行為第十四条及び学校法人関西大学評議員選挙規定に基き、一般選挙が行われるので、五月三十一日の理事会で学校法人関西大学評議員選挙委員会が設けられ、該選挙管理にあたることになつた。

選挙委員には阿部甚吉（委員長）、樫本信雄（副）、久井忠雄（副）、大小島真二、岡野衛士、浪江源治、西本寛一、村尾静明、矢口幸次郎、矢野文雄の諸氏が選ばれた。

選挙委員会は六月十四日に第一回会合を開いて選挙管理について協議し、六月二十日「関西大学校友に告ぐ」と、朝日、毎日両新聞の全国版に、評議員選挙を公示した。爾後委員会の選挙スケジュールにより七月二十日まで登録を受付けて、選挙人名簿を作製し、八月五日をもつて名簿を確定、八月十一日より同二十五日まで十五日間閲覧に供された（なお閲覧者は六名であつた）。

選挙委員会では前後六回に亘つて会合協議し、八月二十一日校友より選出する評議員候補者一〇〇名を推薦し、直ちに選挙人に投票用紙、候補者名簿等関係書類の発送準備にかかり、九月一日午後二時選挙人約三八、八七二名に発送を完了した。なお選挙人は前回（昭和三十一年）より約一万名増加している。

投票は、当初郵便事情が懸念されたが稍々好転して順調に進み、九月二十四日に投票、翌二十五日午前より開票され、夕刻には当選者が決定することになつている。

経済政治研究所研究員更迭

経済政治研究所第三部研究員河崎平一郎（法）、第四部研究員辻岡美延（文）両助教授は、共に米国留学のため、八月三十一日付で辞任し、第四部の後任に文学部大脇義一教授が九月一日付で任命された。

葛原教授デンマークへ

工学部葛原義雄教授は、九月七日より十日まで三日間デンマーク国オデッセ市で開催される国際溶銑炉技術会議に出席のため、九月一日羽田発同市へ向つた。

なお、同教授は日本鉄鋼協会より選出されて出席した後、十一月六日までストックホルム、チューリッヒ、ケンブリッジ、カーネギー、スタンフォード各大学及び附設研究所を視察して同月十五日帰国の予定。

海外より図書寄贈

ミシガン州立大学経営学大学院（Michigan State University Graduate School of Business Administration）よりこの程左記機関誌を寄贈して来たので、本学刊行「商学論集」と交換することになつた。

Business Topics, Summer 1960, Vol. 8, No.3.

また、イギリス経営協会（British Institute of Management）より

The Manager, The Journal of the British Institute of Management, Vol. 28, No. 7, July 1960.

法学者国際委員会（International Commission of Jurists）より

Journal of the International Commission of Jurists, Vol. II, No.2.

等の寄贈があつた。

経営講座開講

就職部では九月七日より同十二日まで在阪有力業界首脳者を千里山学舎に招聘して経営講座を実施した。日時、演題講師は次の通り。

青年に贈る私の処生観　日立造船社長　松原与三松

日本経済の動向　関西経営者協会会長

日本経済と証券業　大阪読売新聞社論説委員　岡田万雄

最近の金融情勢　江口証券社長　高橋要

近代的労使関係とは何か（ヒューマンリレーションズ）　大和銀行副頭取　峯村英薫

わが国労働組合の現状　住友化学専務　大谷一雄

日本経済と電機産業　関西経営者協会事務局長　青沼四郎

日本経済と機械産業　松下電器産業専務　高橋荒太郎

椿本チエイン製作所専務　山中一郎

日本経済と貿易（貿易自由化をめぐつて）　東洋棉花取締役　塩沢定雄

日本における中小企業問題　日本タルク社長　関西学就連委員長　森井庄内

（4頁より続く）

抄本一冊

七、日記

晩香館日誌　自文久二年至明治一九年　自筆抄本　九四冊

修史日誌（自明治六年至明治一二年）　抄本一冊

地震日記一巻　玉浦柞原探索日記一巻

睦月八日記一巻　抄本　一冊

祠官日乗一巻（自明治五年—至六年）　自筆抄本　一冊

献書日誌一巻　抄本　一冊

甘南備神授階千年祭日記附一巻　抄本一冊

神社取調日記　抄本

建白諸件　神主考　晩香館雑載ト合シテ一冊

往坂記一篇　抄本

交友人名簿、備中名勝考弁証ト合シテ一冊

人事異動

昭和三十五年八月三十一日付
関西大学経済・政治研究所（第三部）研究員を解く　助教授　河崎平一郎

昭和三十五年八月三十一日付
関西大学経済・政治研究所（第四部）研究員を解く　助教授　辻岡　美延

昭和三十五年九月一日付
関西大学経済・政治研究所（第四部）研究員を命ずる　教授　大脇　義一

昭和三十五年九月一日付
就職主事を命ずる　教授　小川　雅弥

昭和三十五年九月一日付
関西大学教授に任ずる
工学部勤務を命ずる　竹谷　勢一

昭和三十五年九月一日付
関西大学副手に任ずる
文学部勤務を命ずる。　大内二三雄

学会出張

◇文学部末永雅雄教授は、四月二十七日より五月二日まで早稲田大学における考古学協会総会に出席。

◇文学部藤本勝次助教授は六月三十日から七月四日まで東京大学におけるオリエント学会に出席。

◇文学部三上諦聴教授は六月三十日から七月四日まで大正大学における日本西蔵学会に出席。

◇経済学部高木秀玄教授、浜田文雅専任講師は七月五日から十日まで早稲田大学における日本統計学会に出席。

◇文学部広田君美助教授は七月六日から二十日まで軽井沢スペシャリストコンファレンスにおける社会心理学スペシャリストコンファレンス及び早稲田大学における日本グループダイナミックス学会に出席。

◇商学部吉信爾助教授は七月九日から十一日まで東京教育大学における第四回経済統計研究会に出席。

◇文学部大脇義一教授、辻岡美延助教授は七月十五日から二十日まで東京大学における日本心理学会第二十四回大会に出席。

◇工学部宮城国彦教授、三上達三助教授、金田弥吉、平根喜久両助手、今西茂副手は七月二十五日から二十七日まで札幌市における電気関係四学会連合会に出席。

◇文学部吉永登教授は、八月四日から八日まで法政大学における日本文学協会夏季大会に出席。

◇文学部高橋盛孝教授は八月十日から十三日まで東京大学における東京支那学会に出席。

◇文学部橋田慶蔵教授は八月十九日から二十四日まで群馬大学における日本エスペラント大会に出席。

◇工学部小沼啓助助教授は八月三十一日から九月四日まで日本大学における第十回応用力学連合講演会に出席。

日本学生経営学研究会全国大会

第十一回日本学生経営学研究会全国大会は、関西大学商学研究部主催のもとに去る七月十、十一の両日、関西大学千里山学舎で開催された。

十日　午前八時三十分
特別講演　神戸大学教授　経済学博士　古林　喜楽
テーマと講師
「経営合理化の本質」　関大教授　山口吉兵衛

十一日　午前九時
「中小企業の勢務管理の諸問題」　関大助教授　高堂　俊弥
「経営組織をめぐる諸問題」　関大専任講師　飯野　春樹

関西六大学野球

秋季リーグ戦開幕

恒例の関西六大学野球秋季リーグ戦は九月十日第一週戦開始と共に開幕。

本学は第二日の十一日正午から森の宮日生球場で立命大と一回戦を行ったが、二回より立命にリードされ、遂に立命大に先勝を奪われた。

関大	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
立命	0	1	1	0	2	0	0	0	0	4

また、第二回戦は雨のため二日延びて十四日日生球場で行われ、一回に三点を奪いながら爾后振わず、遂に惜敗した。

関大	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
立命	0	0	0	0	1	2	1	0	X	4

琉球大生と交歓

去る四月本学教授及び学生が琉球大学の記念式典に招聘されて同大学と交歓を行ったことは既報（四月号）の通りであるが、八月二十日琉球大学より学生会長外三名の学生が本学を訪れ、二部の学研と座談会を開き、学生運動を中心に約二時間交歓を行った。

二部弁論部北陸遊説

二部弁論部では文学部藤本是教授も加わって、八月十七日から五日間、信州北陸方面へ遊説旅行を行った。各会場共盛況裡に終り、二十一日には、校友会金沢支部と座談会を開いた。

関西大学副手規程

施行　昭和三十四年四月一日
改正　昭和三十五年七月十四日

第一条　学部に、この規程の定めるところにより副手を置くことができる。

第二条　副手の数は、教授会の議を経て学長の意見をきいて理事会がこれを定める。

第三条　副手は、学士の称号を有する者又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者につき、教授会の議を経て学長の意見をきいて理事会がこれを任命する。

第四条　副手は、学部長の監督の下に、上司の命を受け研究業務に従事する。

附　則

1. この規程は、昭和三十四年四月一日から施行する。

附　則

1. この規程は、昭和三十五年九月一日から施行する。
2. 副手は、当分の間工学部及び文学部心理学教室に限りこれを置くものとする。

就職懇談会開催

本学学生の就職関係会社を七月二十七日（水）夕刻、堂ビル清交社にお招きして、本年度の就職に関する諸問題について懇談会を開催した。

はじめに山田就職部長の司会で、矢口学長、矢野常務監事から本学の教育の現情と学生の就職について、日頃の御礼をかねた挨拶があり懇談会に入つた。

本年は特に大、中、小各会社が一堂に会したためか、大学推薦期日の問題、採用側としての欲求する学生などについて、御要望なり御意見が各社それ〴〵の立場から極めて活発に述べられ盛況裡に午後七時散会した。

なお当日の出席者は次の通りである。

（順不同）

（就職部）

ＫＫアンドリウス商会（中谷純治）　安宅産業ＫＫ（人事課長安宅保夫）朝日火災海上保険ＫＫ（臼井定一郎）　朝日毛糸ＫＫ（永浜勝人）　ＫＫ東精密金型製作所（総務課長金田明成）　尼崎信用金庫（理事長松尾高一）　ＫＫ池田銀行（常務取締役岡田万太郎）　岩谷産業ＫＫ（社長岩谷直治）　大井証券ＫＫ（人事部長大山綱隆）　ＫＫ大阪アルミニューム製作所（労務課長稲垣武夫）　大阪淡路交通ＫＫ（総務部長畑中和三郎）　大阪いすゞ自動車ＫＫ（中久保雅夫）　大阪音響ＫＫ（神富労務課長）　大阪観光バスＫＫ（野見山龍資）　ＫＫ大阪機械製作所（常務今井康兼）　ＫＫ大阪銀行（人事部長滝口広吉）　大阪鋼材ＫＫ（社長伊藤重義）　大阪産業信用金庫（総務部長源島重雄）　大阪商業信用組合（総務部長江口蕨）　大阪商工信用金庫（福原一男）　大阪証券取引所（理事長岡野衛士）　大阪造酢ＫＫ（播野林太郎）　大阪トヨタ自動車ＫＫ（社長横山敏雄）　大阪トヨペットＫＫ（松井松次郎）　大阪日々新聞社（社長石井寿一）　大阪発条鋼業ＫＫ（社長大井邦雄）　大阪日立家庭電器月賦販売ＫＫ（山下貞治）　ＫＫ大阪読売広告社（相談役山田英太郎）　大阪硝子ＫＫ（総務課長渡辺泰彦）　ＫＫ大林組（人事部長）　岡三証券ＫＫ（総務部長古谷健三）　岡安証券ＫＫ（田中清）　カナエ塗料ＫＫ（取締役徳永行平）　金地メリヤスＫＫ（社長金地政雄）　ＫＫ亀井硝子店（専務亀井節治）　河越商事ＫＫ（樫本正明）　ＫＫ関西相互銀行（人事部次長宗像孝蔵）　共成鋼材ＫＫ（社長馬淵新一）　協和自動車ＫＫ（社長大森恒雄）　ＫＫ近畿相互銀行（藤原兼夫）　楠田事務機ＫＫ（宮北貞二）　栗山護謨ＫＫ（取締役栗山淳一）　黒井電機ＫＫ（梶山辰也）　小池薬品ＫＫ（社長小池実）　小山合資会社（坂口修司）　光亜証券ＫＫ（大阪支店総務部長大谷健三）　光揚塗料ＫＫ（三宅宏）　神戸トヨペットＫＫ（常務取締役水元忠一）　佐伯建設工業ＫＫ（人事課長三木福太郎）　阪本印刷ＫＫ（人事課長波尻朝男）　ＫＫ三英製作所（社長矢沢英雄）　三共生興ＫＫ（総務部長金野瑞孝）　ＫＫ三晃社（大阪支店長佐野吉）　三親電材ＫＫ（専務高橋暁）　山陽自動車運送ＫＫ（労務課長森谷吾一）　ＫＫ静岡銀行（取締役大軒省三）　商工組合中央金庫（支店長安江一馬）　ＫＫ昭和産業相互銀行（人事部長坂上郁蔵）　ＫＫ白木洋紙店（大阪支店長斎藤一雄）　神東塗料ＫＫ（総務部長妹尾俊徳）　新協和産業ＫＫ（専務北脇克成）　新日本工機ＫＫ（総務部長土屋克夫）　住友信託銀行ＫＫ（人事部長服部兼俊）　全日本空輸ＫＫ（事務所長鴨秀雄）　タキロン化学ＫＫ（社長岡野讃郎）　田熊汽罐製造ＫＫ（取締役土井政雄）　田丸ＫＫ（社長田丸正二）　田村駒常盤ＫＫ（人事部長付吉川敬一）　大商証券ＫＫ（人事課長鈴木雅行）　ＫＫ大末組（人事課長江口喜好）　大中証券ＫＫ（佐々木謙一）　ＫＫ大和商店（橋本秀三）　大機ゴム工業ＫＫ（坪井寛夫）　第一電業㈱（佐藤政勝）　第三相互銀行（支店長東晃）　立川ペン先ＫＫ（社長立川俊武）　中央仮設鋼機ＫＫ（大阪支店長津田広忠）　ツバサ工業ＫＫ（栄国泰一郎）　ＫＫ寺内（本田秋義）　ＫＫ東海銀行（部長長尾安吉）　東洋乾電池ＫＫ（所長原田恵造）　ＫＫ東洋経済新報社（支社長村山公三）　堂島ＫＫ（社長久保十郎）　ナショナル証券ＫＫ（藤原弘一）　ＫＫ南都銀行（庶務部長代理竹川忠一）　西本レントゲンＫＫ（竹村序助）　日刊工業新聞社（日栄証券ＫＫ（常務取締役岩崎義松）　日興工業株式会社（支店）（田島一郎）　日興証券ＫＫ（総務部次長峰岸仁一）　日興証券投資信託サービスＫＫ（大阪支店武井登徳）　ＫＫ日本勧業銀行（大阪事務所長船岡鉄司）　日本勧業証券ＫＫ（支店長洗川竜雄）　日本信託銀行（支店次長伊吹真五郎）　日本耐火ボードＫＫ（石黒実）　ＫＫ日本ビジネス社（専務三野隆義）　ＫＫ長谷川工務店（平川勝美）　蜂メリヤスＫＫ（小寺堅）　ＫＫ初田製作所（大村幸三郎）　早川電機工業ＫＫ（人事部長五味三男）　桧山崎証券ＫＫ（社長八瀬清）　ＫＫ兵庫相互銀行（常務宮沢拳二）　ＫＫ蛭子商店（販売部長角堂光雄）　フェザーミシン製造ＫＫ（総務部長佐々木寿太郎）　プリンス自動車販売ＫＫ（谷義雄）　不動建設ＫＫ（社長庄野勝）　扶桑産業ＫＫ（広田利夫）　ＫＫ富士銀行（所長山本林）　ＫＫ福徳相互銀行（奥野豊春）　藤浪証券ＫＫ（社長大島治郎一）　ＫＫ藤本洋紙店（社長藤本治一）　ＫＫ平和電子研究所（社長銭谷利男）　丸忠ＫＫ（代表取締役上村忠雄）　ＫＫ万年社（石川汎）　ＫＫ満点製作所（代表取締役横田辰三）　丸三証券ＫＫ（取締役支店長都丸尊司）　三田工業ＫＫ（丸尾秀夫）　ＫＫ美津和運動用品店（片岡勲）　ＫＫ宮崎鉄工所（工場長宮地広美）　ＫＫ村田技術研究所（坂梨勝久）　ＫＫ森川商会（支店長木下信義）　八木商事ＫＫ（総務部長山口正男）　安田火災海上保険ＫＫ（支店長宮沢和人）　安田信託銀行（中島功）安田生命保険（相）（川村孝雄）　山一証券ＫＫ（黒田道蔵）　山卯証券ＫＫ（竹中見三）　ＫＫ山口玄（村岡雅典）　山源証券ＫＫ（常務矢次良三）　山善機械器具ＫＫ（山本猛夫）　山田電気工業ＫＫ（島袋幸徳）　吉光金属ＫＫ　石塚証券ＫＫ（社長石塚善之輔）　共栄貿易ＫＫ（総務課長）　阪急産業ＫＫ（総務部次長沢田一雄）　豊中信用金庫（大西一元）　旭広告ＫＫ（社長奥野幾次郎）　一吉証券ＫＫ（社長福田堅一郎）　富士火災海上保険ＫＫ　栗田化学工業ＫＫ　日東証券ＫＫ　幸福相互銀行　日本Ｉ・Ｂ・ＭＫＫ　中小企業金融公庫　大阪繊維研究社　常務監事矢野文雄　学長矢口孝次郎　就職部長山田松太郎　主事教授金戸嘉七　教授鋳方貞亮　教授川元英二　就職課長山彫耕作　就職課酒井彦一、村上仙三

校友

校友会の動き　八月

三・四日　東海地区講演と映画の夕べ
三日　愛知支部総会、粧業関大会総会
四日　岐阜支部総会
十一・十三日　九州地区講演と映画の夕べ
十一日　十三会総会、長崎支部総会
十三日　鹿児島支部総会
二十日　大阪国税局秀麗会総会
二十一日　城東支部主催講演会
二十三日　組織部会
二十四日　広報部会
二十六・二十八日　四国地区講演と映画の夕べ
二十六日　香川支部総会
二十七日　和泉支部総会、高知支部総会
二十八日　西宮支部納涼懇親会

講演と映画の夕べ

関西大学の創立七十五周年を記念して関西大学と校友会の共催による「講演と映画の夕べ」が東海・九州・四国地方、六カ所で開かれ、いずれも盛会に終った。開催日時場所、講師・演題はつぎのとおり

東海地区
八月三日（水）午後五時半、名古屋市中区役所ホール
八月四日（木）午後六時、岐阜市明徳会館
技術革新時代における工業経営　教授・経博　松原　藤由
貿易の自由化と日本の近代化　教授　山崎　紀男

九州地区
八月十一日（木）午後六時半、長崎カトリックセンター
八月十三日（土）午後六時半、鹿児島農協会館
企業の資金繰りについて　教授・経博　植野　郁太
最近の国際情勢と日本の地位　教授　加藤三之雄

四国地区
八月二十六日（金）午後七時、丸亀市中央公民館
八月二十八日（日）午後六時半、高知土電会館ホール
私立大学のあり方　学長・経博　矢口孝次郎
ヒューマニズムについて　教授　堀　正人
憲法と政治　教授・法博　中谷　敬寿

なお、この講演と映画の夕べには上記講演のほか、関西大学がさきほど完成した本学の天然色PR映画「大阪の華」が上映された。

参集した校友はもちろん、一般市民、学生ら聴衆も関西大学の充実した様子や明るい学生生活に強い関心を呼んだ。校友は卒業後母校に接する機会がすくないためにとくになつかしく、発展する姿に喜こんでいた。

愛知支部総会

愛知支部では八月三日、名古屋市で開かれた講演と映画の夕べが終了したあとニュートウキョウで五十余名が出席して総会を開いた。

講演会に出席の松原、山崎両教授、大学側矢野常務監事、校友会大月会長、門上組織部長、宮崎組織部員、神屋敷事務長らが出席して開かれた。講演会が終ってから開かれたため役員改選などは日をあらためて行なうことにし一同で講演会の成功を喜こんだ。大月会長が支部の充実を祝してあいさつ、矢野常務監事は支部の努力で講演会が成功に終ったことをよろこび、その労をねぎらった。

最後に門上組織部長の発声で乾杯し、懇親会を開いて午後九時閉会した。

岐阜支部総会

岐阜支部では岐阜市で講演と映画の夕べが開催されるのに先だって八月四日午後四時から岐阜市役所前のレストラン「コロンビヤ」で総会を開催した。

武藤幹事長の司会で渋谷支部長のあいさつがあり、矢野常務監事、大月会長、門上組織部長らが大学ならびに校友会の現況を報告した。

久しぶりの会合に話がはずみなごやかに歓談、講演会が当地で開かれたのを機に今後はたびたび会合することを約して閉会した。

十三会総会

十三会では半年ぶりに第四十三回の総会を八月十一日午後五時から羽衣「新東洋」で開催。

大学側から神宅理事長、校友会から大月会長が出席した。

はじめに故岩崎教授の長逝をいたみ、ありし日の録音をきき先生をしのんだ。また会員中山幸市氏の学位獲得を祝い、懇親会を最後に閉会した。

大阪国税局秀麗会総会

大阪国税局秀麗会では七月二十日午後三時から大阪道頓堀の「ドウトン」で五十余名が出席して開催。

議事は前川会長のあいさつで始まり、つづいて役員改選が行なわれた結果、前川会長が重任となったほか、副会長には徳永武、芝本正春両氏が選出された。

大学側から出席の和田法学部長、校友会から出席の長柄副会長が大学と校友会の現状を説明し、一同、最後に懇親会を開いて歓談ののち閉会した。

城東支部講演会

城東支部ではさる八月二十一日午後五時から区内・鯰江小学校講堂で「講演と映画の夕べ」を開催。

この支部は発足一周年を迎えたため記念してこの講演会を開いたもので、講師として本学教授・経博安田信一氏、文学部教授広岡英雄氏が出席した。

講演会場には校友はじめ一般市民ら多数がつめかけ、同支部副支部長・司法修習生上原洋允氏の「借地借家法の改正案」と題する講演につづいて、安田教授が「経済の成長と今後の国民生活」と題し、また広岡教授が「人間と言葉との関係」と題して講演した。

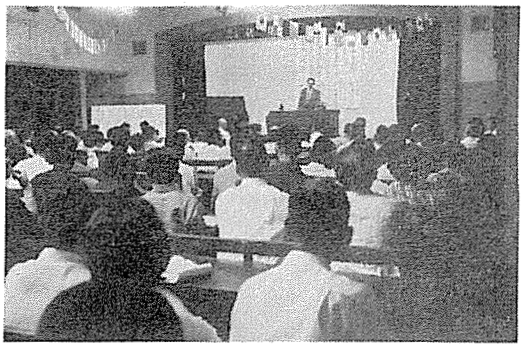
最後に関西大学のPR映画「大阪の華」と松竹映画「キクとイサム」を上映して閉会した。

城東支部で開催した講演と映画の夕べ

香川支部総会

香川支部では、丸亀市で大学、校友会共催の講演と映画の夕べが開かれた八月二十六日、丸亀市中央公民館別室で本年度の総会を開催。

母校から講演会に出席のためでかけた矢口学長、中谷、堀両教授、校友会の樫本副会長、寺西組織副部長らも列席して開かれた。馬場支部長のあいさつのあと矢口学長、樫本副会長が母校、校友会の現状を説明した。そのあと各自自己紹介をしてから懇親会をひらいたが、休暇中で帰郷している現役学生も出席したため盛会であった。総会終了後、一同こぞって講演会を聴講した。



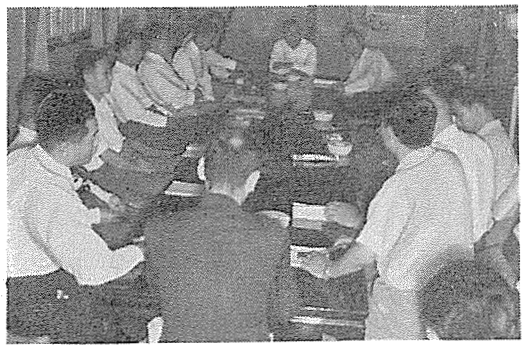
丸亀市中央公民館で満員の聴衆を得て開かれた講演と映画の夕べ

和泉支部総会

和泉支部では八月二十七日午後四時から第二回目の総会を開催。

南河内郡八坂町と信達村が和泉市に併合されて会員も約十五名増えたため出席者も多く盛会であった。

山本副支部長が開会のあいさつをのべたあと校友会から出席の大月会長があいさつをのべた。ついで一般議事にうつり活動経過報告、会計報告のあと懇親会にうつり、歓談ののち閉会した。なお、この総会には盛会を祝して和泉市長も列席した。



和泉支部総会

高知支部総会

高知支部では八月二十七日に同市保護会館ホールで本年度総会を開催。

この日は翌日の講演会に出席のため高知市を訪れていた矢口学長、中谷、堀両教授ら大学、校友会本部関係者らも出席、会員も約三十名出席した。

総会は岡内支部長のあいさつで始まり経過報告、会計報告のあと矢口学長、樫本校友会副会長のあいさつがあり総会を終了した。そのあと場所をかえて現役学生も加わって豪快な懇親会が開かれ、午後十時閉会した。

高知支部総会

関西大学教授
関西大学東西学術研究所員　壺井義正編

関西大学泊園文庫藏書書目

A5判　二八〇頁
布クロース上製

関西大学泊園文庫藏書書目　索引之部

A5判　一〇一頁
写真五葉入
布クロース上製

大阪の庶民学苑を築いた藤沢東畡、南岳、黄鵠、黄坡先生と三世四代相継がれた泊園書院の蔵書を黄坡元本学名誉教授故藤沢章二郎先生が長年の縁を以て本学に寄贈せられたが、本書はその貴重な蔵書書目を全二冊に収録したものである。

書目目次
巻一　経部　巻二　史部
巻三　子部　巻四　集部
索引目次
書名索引　人名索引

刊行　關西大學

なお、本書は大阪における儒学や東洋学一般の研究に貴重な参考文献となるものとおもいますから、この方面の研究家にお領ちいたしますから、御入用の方は直接当部へ御注文下さい。（金二冊領価金壱千円也）

刊行取扱　關西大學出版部

関西大学経済学会編

関西大学経済学会編　経済論集

第九巻第六号

昭和三十五年三月刊　A5判　一九〇頁

中川庸太郎教授還歴記念特輯

経済発展と資金供給……森川太郎
独逸経済学における国民経済の意味……赤羽豊治郎
投資・貯蓄の均等と企業の自己金融率……安田信一
J・S・ミルの初期の人口思想……杉原四郎
A・H・ハンセン著「貨幣理論と財政政策」批判を通じての有効需要養成に関する一試論
—第三有効需要論のうち—……有田稔
技術の進歩と比較生産費説……山本繁綽

関西大学経済政治研究所編

マス・コミの研究　人事心理の問題

第四部研究班　研究双書　第五冊
昭和三十五年六月一日　A5判　一二五頁

内容

マス・コミ効果批判の批判……井上吉次郎
—諸媒体間の競合と結合に就いて—
自己診断過程における価値観と人格特性との関連について……辻岡美延

昭和二十六年十月十五日第三種郵便物認可
昭和三十五年九月三十日発行（毎月一回三十日発行）
關西大學學報　第三四三号　九月号
編集兼発行人　久井忠雄
発行所　大阪市大淀区長柄中通二丁目　關西大學出版部　電話堀川(35)二〇七二番　振替大阪二六七七二番
印刷所　株式会社ナニワ印刷所　電話(35)七二七一